第6回 精神保健医療福祉フォーラム "ほっ"とできる生活をこの街で〜地域と共に生きる〜

平成 2 8 年 6 月 1 8 日(土)

開場:12時30分 開演:13時~16時30分場所:都立多摩総合医療センター 講堂

(JR西国分寺・国分寺・国立駅 バス5分)

入場無料 要申込み 定員250名

薬物依存症

生きづらさを抱えながら今を生きる "孤玄"と"つながり"



第2部 内谷正文 体験談

内谷 正文(うちゃ まさぶみ)氏 プロフィール

1969年神奈川県うまれ。俳優・モデル。10代後半から薬物を使い始める。一緒に薬物を使用していた 弟が薬物依存症に陥ったことをきっかけに、家族をも巻き込みこの病気と向き合っていくこととなる。 現在は舞台俳優として活動する傍ら、自らの経験を活かした一人芝居公演を行っている。

第3部 シンポジウム

「生きづらさを抱えながら今を生きるー"孤立"と"っながり"ー」

コーディネーター: 平林 剛 (弁護士/精神保健福祉士)

シンポジスト 櫻井 博 (多摩棕櫚亭協会 ピアスタッフ)

野村 忠良 (府中梅の木会 会長)

小野 加津子 (訪問看護ステーション卵 看護師)

主催:一般社団法人 地域ネットワーク多摩(ちたま)

後援:NPO法人 地域精神保健福祉機構